



カメラセット袋の中身は電波時計、カメラ本体と予備バッテリー、モバイルバッテリーと充電 USB ケーブル、ミニ三脚、雲台固定具。別途で 1m くらいに伸びる三脚。

三脚とのマウンタである雲台（左図一番下の白い部品）がスマホ固定具にネジで装着されている。固定具はモバイルバッテリーとカメラ本体を挟んでいる。ケーブルは当日つなぐ。モバイルバッテリーの充電は十分されている。防水のために全体をサランラップでくるむと良い。本体の電池だけでは持って 1.5 時間。防水はビニールやポリ袋でもいいが撥水能力が低いので雨が降ると適時水滴を落とさないとカメラのピントが競技者に合わなくなる。



三脚は黒の 50cm の袋に入っている。上部は左図の構造となっている。三脚を展開し水準器も使って水平に設置する。

左図左側のレバーを回しながら、雲台を三脚に取り付ける。レバーは雲台を 90 度倒して利用するためのネジで使わない。三脚は足のゴムキャップが外れやすいのと、三段階目が細くてひ弱で、蹴るなどして曲がると収納できなくなるので注意。



カメラの設置場所はフィニッシュコントロールのステーションまたはユニットを必ず含み、少なくとも数秒間は競技者が映るよう置く。つまりラストコントロール方向を撮影するのが良い。フィニッシュからカメラが遠いとゼッケンの数字が不鮮明になるので避ける。カメラ本体の時計精度があまりあてにならないため電波時計を画角に含める。小さな電波時計はセットに入っている。電波時計は強制電波受信ボタンで合わせる。左図はこのカメラで実際にサブ計時動画判定に使用したもの。

カメラ本体の使い方

- ・レンズ側についているのが電源ボタン。長押しでオフ。録画していないときに 1 分無操作でもオフ。
- ・電源ボタン押した直後が動画録画モード。本体上部のスイッチで録画開始。
- ・録画中は画面左上のカメラ記号が白から赤色に変化。上部のランプが点滅する。
- ・録画中は 1 分無操作で画面は消灯するが録画は続けられている。上部のランプが点滅で動作確認はできる。
- ・電源ボタンを複数回押すと静止画や連射など切り替わるが何度か押せば動画モードに戻る。
- ・動画モード右上の時間は記録容量による録画可能時間表示、空なので 5 時間以上ある。左下は電池残量。
- ・録画終了は録画開始と同じく本体上部のスイッチ。一時停止と再開機能はないっぽくてファイル分割される。
- ・画面消灯した後の画面の確認はボタン 1 回押す。つまり画面消灯中からの記録停止はボタン 2 回押す。
- ・モバイルバッテリーは本体バッテリーが満タンになると自動でオフになるのでたまに再起動が必要。モバイルバッテリー側面に小さなボタンが一つあるのでそれを押す。給電中はモバイルバッテリーの電池残量表示ランプが点滅するので確認する。
- ・カメラ右側面の上下ボタンは録画していないときに上を押すと記録再生モード、下を押すと wi-fi 検知を始めてしまう。本の表示に戻るには前者のときもう一度上ボタンを、後者はもう一度下ボタンを押す。